# 2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上場会社名 | 一正蒲鉾株式会社 | 上場取引所 | 東 |
| コード番号 | 2904 | URL | https://www.ichimasa.co.jp/ |
| 代表者 | (役職名) 代表取締役 社長執行役員 | (氏名) | 野崎 正博 |
| 問合せ先責任者 | (役職名) 取締役 常務執行役員 コーポレート事業統括本部長 | (氏名) | 村山 徳裕　(TEL) 025-270-7111 |
| 配当支払開始予定日 | ― | | |

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

## １．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年６月期第１四半期 | 7,791 | 4.8 | △518 | ― | △558 | ― | △409 | ― |
| 2026年６月期第１四半期 | 7,433 | 1.2 | △216 | ― | △235 | ― | △121 | ― |

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　△440百万円(　　－%)　2026年６月期第１四半期　　43百万円(△14.9%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年６月期第１四半期 | △22.35 | ― |
| 2026年６月期第１四半期 | △6.65 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年６月期第１四半期 | 31,640 | 14,386 | 45.1 |
| 2026年６月期 | 30,885 | 15,035 | 48.5 |

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　14,284百万円　　2026年６月期　14,976百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年６月期 | ― | 0.00 | ― | 14.00 | 14.00 |
| 2027年６月期 | ― | | | | |
| 2027年６月期(予想) | | 0.00 | ― | 14.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第２四半期(累計) | 21,100 | 7.7 | 700 | △17.9 | 660 | △21.1 | 410 | △32.4 | 22.37 |
| 通期 | 38,600 | 8.6 | 800 | 30.7 | 800 | 51.2 | 480 | 47.1 | 26.19 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　１社（社名）株式会社直江商店　　、除外　　−社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年６月期１Ｑ | 18,590,000株 | 2026年６月期 | 18,590,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年６月期１Ｑ | 263,589株 | 2026年６月期 | 263,589株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 2027年６月期１Ｑ | 18,326,411株 | 2026年６月期１Ｑ | 18,308,012株 |

（注）発行済株式数に関する当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2027年６月期１Ｑ198,500株、2026年６月期198,500株）が含まれています。また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2027年６月期１Ｑ198,500株、2026年６月期１Ｑ216,900株）を含めています。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

文字本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 ……6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
(継続企業の前提に関する注記) ……8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) ……8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) ……8
(セグメント情報等) ……8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により緩やかな回復基調をたどったものの、米国の通商政策や国際情勢を巡る地政学リスク、為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、相次ぐ物価上昇を背景に家計の節約志向が定着しており、個人消費の力強さを欠く展開が続いています。

食品業界においては、原材料・資材価格やエネルギーコスト、人件費等の上昇に対応した価格改定や商品規格の見直しが進められる一方、消費者の低価格志向や買い控えの影響もみられ、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”（2045年度のありたい姿）の実現に向け、2026年７月に始動した「2nd Stage」（2026年７月～2035年６月）のもとで『魚肉たんぱくを、くらしの“あたりまえ”に。』をテーマに掲げるとともに、第三次中期経営計画（2026年７月～2031年６月）の初年度として、構造改革による収益力の再構築と成長戦略への積極的な資源投下を進める「深化の５年」に取り組んでいます。当第１四半期におきましては、さらなる事業基盤の強化と成長に向け、水産練製品の製造販売を手がける株式会社直江商店（宮城県塩竈市）と資本業務提携いたしました。今後は両社の知見を活かした商品の共同開発や販路拡大等を通じてシナジー創出を進めていきます。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は77億91百万円（前年同期比3億58百万円（4.8%）の増収）、営業損失は５億18百万円（前年同期は営業損失２億16百万円）、経常損失は５億58百万円（前年同期は経常損失２億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は４億９百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失１億21百万円）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

（水産練製品・惣菜事業）

売上高は、2026年９月納品分より実施した価格改定の効果に加え、前年に比べ気温の低下が早く、おでん需要が早期に立ち上がったことにより、調理済みおでん商品群の販売が伸長しました。また、保存性や利便性に優れた商品の販売も堅調に推移し、前年同期を上回りました。

利益は、生産性の向上やコスト削減に取り組んだものの、主原料であるすり身をはじめとする原材料費や労務費の上昇に加え、一部商品の販売数量減少に伴う生産効率の低下などが影響し、前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は68億88百万円（前年同期比２億85百万円（4.3%）の増収）、営業損失は３億66百万円（前年同期比2億97百万円の減益）となりました。

（きのこ事業）

売上高は、業務用チャネルや市場向け販売の拡大、新規顧客の開拓により販売数量が増加したことに加え、販売価格の上昇も寄与し、前年同期を上回りました。

利益は、高粗利商品の販売拡大や販売価格の見直しに取り組むとともに、栽培環境の管理徹底による安定生産と収穫量の確保に努めた結果、損失額は前年同期並みとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は８億41百万円（前年同期比96百万円（13.0%）の増加）、営業損失は１億76百万円（前年同期比０百万円の増益）となりました。

（運送・倉庫事業）

運送部門は、トラック適正化二法への対応として多重下請構造の解消を進め、輸送取引体制の見直しを図ったことにより、売上高は前年同期を下回りました。一方、運賃水準の適正化に取り組んだ結果、収益性が改善し、減収ながらも増益となりました。

倉庫部門は、食品関連企業の在庫抑制傾向が続くなか、新規貨物の獲得に努めましたが、取扱貨物の入庫量が減少し、保管在庫量も低調に推移しました。この結果、荷役料・保管料収入がともに減少し、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は61百万円（前年同期比23百万円（28.0%）の減収）、営業利益は27百万円（前年同期比４百万円の減益）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は316億40百万円（前連結会計年度末比７億54百万円の増加）となりました。これは主に減価償却の進行による有形固定資産の減少の一方、売掛金の増加や需要期に備えた商品及び製品並びに仕掛品の増加によるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は172億53百万円（前連結会計年度末比14億３百万円の増加）となりました。これは主に未払金及び未払費用の並びに長期借入金の減少の一方、季節的要因による短期借入金の増加によるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は143億86百万円（前連結会計年度末比６億48百万円の減少）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金支払いの減少によるものです。自己資本比率は、前連結会計年度末の48.5％から45.1％となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2026年８月７日に公表した業績予想から変更はありません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年６月30日) | 当第１四半期連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,296,125 | 875,081 |
| 売掛金 | 3,622,328 | 4,011,805 |
| 商品及び製品 | 1,214,425 | 1,964,921 |
| 仕掛品 | 521,733 | 874,096 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,853,162 | 2,690,206 |
| その他 | 139,894 | 162,373 |
| 貸倒引当金 | △1,811 | △1,804 |
| 流動資産合計 | 9,645,857 | 10,576,680 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,887,120 | 6,863,815 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,429,020 | 6,277,010 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 284,178 | 305,271 |
| 土地 | 3,583,274 | 3,598,369 |
| リース資産（純額） | 1,427,213 | 1,417,674 |
| 建設仮勘定 | 33,120 | 67,581 |
| 有形固定資産合計 | 18,643,928 | 18,529,722 |
| 無形固定資産 | 310,529 | 303,082 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,904,624 | 1,847,248 |
| 繰延税金資産 | 89,593 | 91,753 |
| その他 | 315,593 | 316,147 |
| 貸倒引当金 | △24,500 | △24,500 |
| 投資その他の資産合計 | 2,285,311 | 2,230,649 |
| 固定資産合計 | 21,239,769 | 21,063,454 |
| 資産合計 | 30,885,626 | 31,640,135 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,505,731 | 2,460,101 |
| 短期借入金 | 3,507,610 | 5,714,150 |
| 未払法人税等 | 162,871 | 35,899 |
| 賞与引当金 | 92,672 | 367,974 |
| 役員賞与引当金 | 21,219 | － |
| 未払金及び未払費用 | 1,896,479 | 1,641,510 |
| その他 | 471,402 | 388,805 |
| 流動負債合計 | 8,657,985 | 10,608,440 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年６月30日) | 当第１四半期連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,058,279 | 4,679,530 |
| リース債務 | 1,298,411 | 1,281,646 |
| 役員退職慰労引当金 | 49,075 | 46,754 |
| 役員株式給付引当金 | 112,489 | 119,654 |
| 繰延税金負債 | 355,215 | 190,962 |
| その他 | 319,008 | 326,753 |
| 固定負債合計 | 7,192,479 | 6,645,300 |
| 負債合計 | 15,850,465 | 17,253,741 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 940,000 | 940,000 |
| 資本剰余金 | 650,000 | 650,000 |
| 利益剰余金 | 12,508,901 | 11,838,637 |
| 自己株式 | △192,465 | △192,465 |
| 株主資本合計 | 13,906,436 | 13,236,172 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,096,492 | 1,057,027 |
| 為替換算調整勘定 | △26,806 | △8,693 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,069,685 | 1,048,334 |
| 非支配株主持分 | 59,038 | 101,887 |
| 純資産合計 | 15,035,161 | 14,386,394 |
| 負債純資産合計 | 30,885,626 | 31,640,135 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 2025年７月１日<br>至 2025年９月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 2026年７月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 7,433,685 | 7,791,879 |
| 売上原価 | 6,198,243 | 6,707,483 |
| 売上総利益 | 1,235,442 | 1,084,396 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,452,424 | 1,603,233 |
| 営業損失（△） | △216,982 | △518,837 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 98 | 172 |
| 受取配当金 | 11,626 | 12,457 |
| 受取賃貸料 | 1,448 | 2,306 |
| 受取手数料 | 129 | 36 |
| 売電収入 | 6,057 | 5,385 |
| 雑収入 | 8,653 | 4,855 |
| 営業外収益合計 | 28,013 | 25,213 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,387 | 32,563 |
| 支払手数料 | 9,300 | 1,800 |
| 為替差損 | 8,055 | 29,866 |
| 雑損失 | 317 | 1,103 |
| 営業外費用合計 | 46,059 | 65,334 |
| 経常損失（△） | △235,029 | △558,958 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 75,827 | － |
| 特別利益合計 | 75,827 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 3,017 |
| 特別損失合計 | 0 | 3,017 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △159,202 | △561,975 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 52,364 | 23,112 |
| 法人税等調整額 | △83,243 | △161,929 |
| 法人税等合計 | △30,879 | △138,817 |
| 四半期純損失（△） | △128,322 | △423,157 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失（△） | △6,537 | △13,516 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △121,785 | △409,641 |

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 2025年７月１日<br>至 2025年９月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 2026年７月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純損失（△） | △128,322 | △423,157 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 162,255 | △39,464 |
| 為替換算調整勘定 | 9,260 | 21,953 |
| その他の包括利益合計 | 171,515 | △17,511 |
| 四半期包括利益 | 43,193 | △440,669 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 46,883 | △432,641 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3,690 | △8,027 |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当第１四半期連結会計期間において、株式会社直江商店の株式を取得したことにより、連結子会社となったため、連結の範囲に含めています。なお、みなし取得日を当第１四半期連結会計年度末日としているため、当第１四半期連結会計期間は、貸借対照表のみ連結しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

| | 前第１四半期連結累計期間<br>(自　2025年７月１日<br>至　2025年９月30日) | 当第１四半期連結累計期間<br>(自　2026年７月１日<br>至　2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 460,696千円 | 481,575千円 |
| のれん償却額 | 6,150 | 239 |

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額<br>(注１) | 四半期連結損益計算書計上額<br>(注２) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 水産練製品・惣菜事業 | きのこ事業 | 運送・倉庫事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,603,145 | 745,355 | 85,184 | 7,433,685 | － | 7,433,685 |
| 外部顧客への売上高 | 6,603,145 | 745,355 | 85,184 | 7,433,685 | － | 7,433,685 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | 155,580 | 155,580 | △155,580 | － |
| 計 | 6,603,145 | 745,355 | 240,764 | 7,589,265 | △155,580 | 7,433,685 |
| セグメント利益又は損失（△） | △69,499 | △176,908 | 32,375 | △214,032 | △2,950 | △216,982 |

（注）１ セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,950千円は、主にセグメント間取引消去です。
２ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注１） | 四半期連結損益計算書計上額（注２） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 水産練製品・惣菜事業 | きのこ事業 | 運送・倉庫事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,888,628 | 841,954 | 61,296 | 7,791,879 | － | 7,791,879 |
| 外部顧客への売上高 | 6,888,628 | 841,954 | 61,296 | 7,791,879 | － | 7,791,879 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | 166,810 | 166,810 | △166,810 | － |
| 計 | 6,888,628 | 841,954 | 228,107 | 7,958,690 | △166,810 | 7,791,879 |
| セグメント利益又は損失（△） | △366,994 | △176,730 | 27,749 | △515,975 | △2,862 | △518,837 |

（注）１ セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,862千円は、主にセグメント間取引消去です。
２ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。